

ドイツ・グローバル好配当株式ファンド (毎月分配型)

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第220期 (決算日：2023年7月21日) 第223期 (決算日：2023年10月23日)
第221期 (決算日：2023年8月21日) 第224期 (決算日：2023年11月21日)
第222期 (決算日：2023年9月21日) 第225期 (決算日：2023年12月21日)
作成対象期間 (2023年6月22日～2023年12月21日)

第225期末 (2023年12月21日)	
基準価額	6,540円
純資産総額	3,011百万円
第220期～第225期 (2023年6月22日～2023年12月21日)	
騰落率	3.5%
分配金合計	60円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「トップページ」→「ファンド情報」→「ファンド関連情報」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

※将来、ホームページの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。
○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ドイツ・グローバル好配当株式ファンド(毎月分配型)」は、2023年12月21日に第225期の決算を行いました。当ファンドは、世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

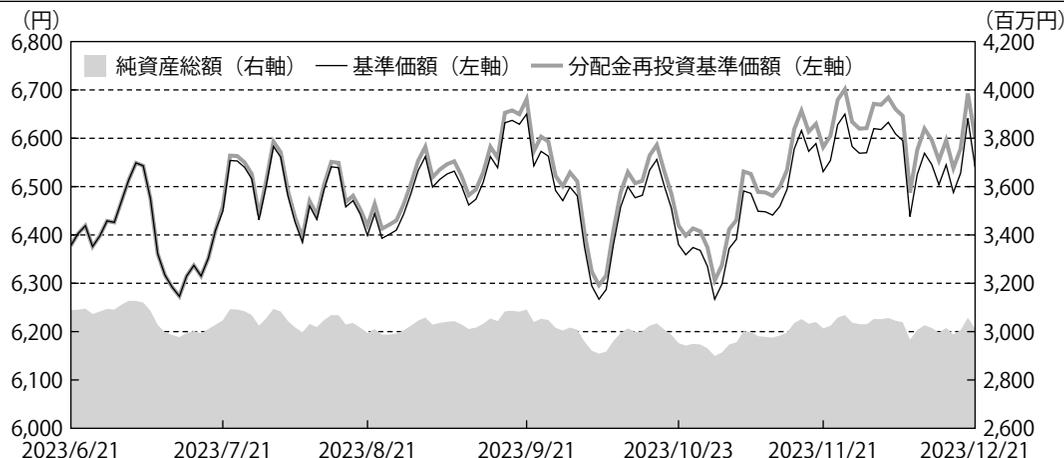
<https://funds.dws.com/ja-jp/>

*お取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

■基準価額等の推移について

（2023年6月22日～2023年12月21日）



第220期首：6,378円

第225期末：6,540円（既払分配金（税込み）：60円）

騰落率：3.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定した配当収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行いました。世界株式市場で株価が上昇したことや、為替市場で対米ドル、対ユーロともに円安となったことが基準価額にプラスに寄与しました。また、マザーファンドにおいて、電気自動車販売の利益貢献や新興国での売上増加による業績拡大期待等が株価を押し上げたオランダの自動車メーカーや、原油価格の上昇やインドの再生可能エネルギー会社との合弁会社への投資、自社株買いの拡大計画等が好感されたフランスのエネルギー会社等の保有がプラスに寄与しました。一方、新型コロナウイルスのワクチン・治療薬の販売不振や2024年の売上高・利益見通しが市場予想を下回ったこと等が嫌気されたアメリカの医薬品会社や、多発性骨髄腫治療薬の販売不振や、新薬売上高目標100億米ドルの達成時期の後ずれ等が嫌気されたアメリカのバイオ医薬品会社等の保有がマイナスに働きました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第220期～第225期 2023年6月22日～2023年12月21日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	46円	0.715%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は6,483円です。
（投 信 会 社）	(23)	(0.358)	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	(20)	(0.302)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	(4)	(0.055)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.006	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株 式）	(0)	(0.006)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.011	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株 式）	(1)	(0.011)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	4	0.065	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.015)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用・印刷費用等）	(3)	(0.050)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	51	0.797	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

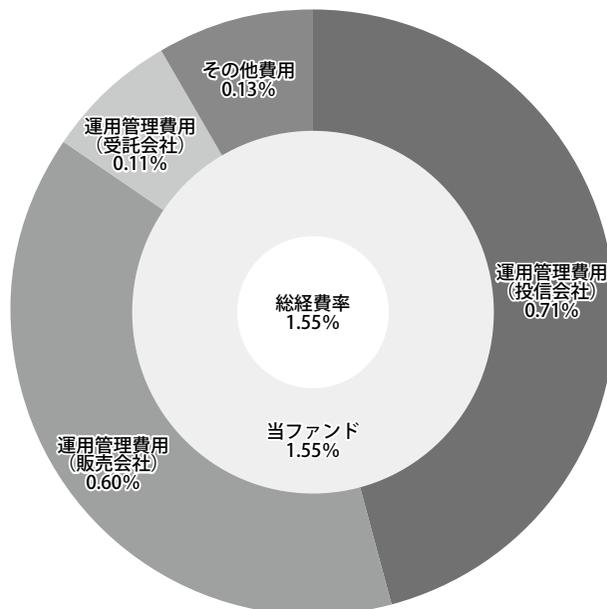
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

(参考情報)

○**総経費率**

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.55%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

（2018年12月21日～2023年12月21日）

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		2018年12月21日	2019年12月23日	2020年12月21日	2021年12月21日	2022年12月21日	2023年12月21日
基準価額	(円)	4,429	5,061	4,549	5,338	5,858	6,540
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	17.2	△7.6	20.2	12.0	13.8
純資産総額	(百万円)	3,455	3,481	2,846	2,882	2,926	3,011

- 当ファンドはドイチェ・グローバル好配当株式マザーへの投資を通じて、主として世界各国の株式に投資し、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

■投資環境について

（2023年6月22日～2023年12月21日）

当作成期の世界株式市場で株価は上昇しました。作成期初は米国のインフレ鈍化や、利上げサイクルが終了に近づいているとの楽観、一部企業の好決算等から株価が上昇しましたが、その後、米国の堅調な経済指標もあり高金利環境の長期化が懸念されたことや、中国の景気減速や中東情勢の緊迫化に対する懸念が高まったこと等から軟調に推移しました。2023年11月以降は、当局者の発言や経済指標を受けて利上げサイクルの終了観測や2024年の利下げ期待が高まったことから株価は反発し、前作成期末比プラスで作成期を終えました。

為替市場では、対米ドル、対ユーロともに円安になりました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

（2023年6月22日～2023年12月21日）

（当ファンド）

当ファンドでは当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定した配当収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行いました。

（ドイチェ・グローバル好配当株式マザー）

当ファンドでは当初の運用方針通り、世界各国の株式を主要投資対象とし、安定した配当収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行いました。

作成期中は、相対的に安定した業績が見込まれ、株価の割安感が強いと判断したアメリカの管理医療会社や、豊富な新薬候補を有しており良好な業績が期待されるイギリスの製薬会社等を購入了。一方、業界内での競争激化等が懸念されたアメリカの通信会社や、同業他社と比べ治療薬や新薬候補のプロダクトミックスの観点から投資妙味が低いと判断したフランスの製薬会社等を売却しました。

■ベンチマークとの差異について

（2023年6月22日～2023年12月21日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■分配金について

基準価額水準等を勘案して、各期とも10円（税引前）といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	第220期 2023年6月22日～ 2023年7月21日	第221期 2023年7月22日～ 2023年8月21日	第222期 2023年8月22日～ 2023年9月21日	第223期 2023年9月22日～ 2023年10月23日	第224期 2023年10月24日～ 2023年11月21日	第225期 2023年11月22日～ 2023年12月21日
当期分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円
（対基準価額比率）	0.155%	0.156%	0.150%	0.156%	0.153%	0.153%
当期の収益	10	2	10	3	10	9
当期の収益以外	－	7	－	6	－	0
翌期繰越分配対象額	379	371	383	377	379	378

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定した配当収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。

（ドイチェ・グローバル好配当株式マザー）

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、世界各国の株式を主要投資対象とし、安定した配当収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。

欧米の利上げサイクルは終了し、2024年半ばには景気を下支えるために利下げが行われると予想しています。高金利等の影響で経済成長は緩やかなものになるとみられますが、米国株は業績成長による後押しが、欧州株は割安感の修正が期待されること等から株式市場には一段の上昇余地があると考えています。一方、インフレや雇用などの景気動向やロシア、中東などの地政学リスク等をめぐる不透明感には引き続き注意する必要があると思われます。運用にあたっては、引き続きリスクを注視しつつ、良好な業績が見込まれ、かつ相対的に高い配当利回りが期待される銘柄に注目していく方針です。

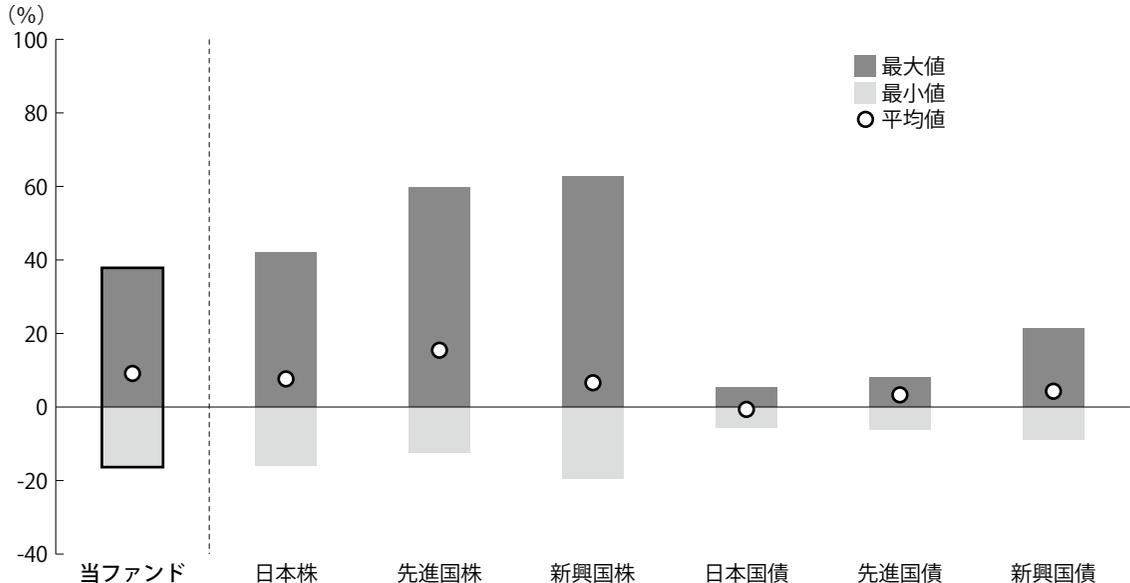
お知らせ

該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	当ファンド	ドイツ・グローバル好配当株式マザー受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	ドイツ・グローバル好配当株式マザー	世界各国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	ドイツ・グローバル好配当株式マザー（以下「親投資信託」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として世界各国の株式に投資します。親投資信託受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	<p>毎決算時（原則として毎月21日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます）の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、上記①の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、毎年3月及び9月の決算時には基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、上記①の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較（2018年12月末～2023年11月末）



（当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（％））

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	9.1	7.6	15.4	6.6	△0.6	3.3	4.3
最大値	37.9	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
最小値	△16.3	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*2018年12月～2023年11月の5年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、当該ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

（注）先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

- T O P I X（東証株価指数）の指数値及びT O P I Xにかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用等T O P I Xに関するすべての権利・ノウハウ及びT O P I Xにかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、T O P I Xの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
- M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C I に帰属します。また、M S C I は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- N O M U R A - B P I は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「N F R C」といいます。）が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利はN F R C に帰属します。なお、N F R C はN O M U R A - B P I を用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

ファンドデータ

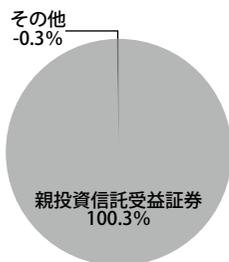
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

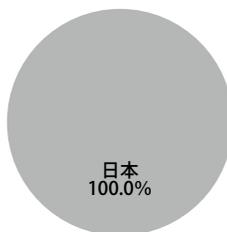
項 目	第225期末
	2023年12月21日
ドイチェ・グローバル好配当株式マザー	100.3%

(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

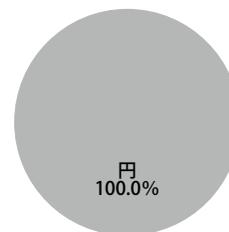
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	第220期末	第221期末	第222期末	第223期末	第224期末	第225期末
	2023年7月21日	2023年8月21日	2023年9月21日	2023年10月23日	2023年11月21日	2023年12月21日
純 資 産 総 額	3,046,901,931円	2,994,554,106円	3,091,474,613円	2,952,588,255円	3,013,189,905円	3,011,159,287円
受 益 権 総 口 数	4,724,484,133口	4,679,986,377口	4,649,096,804口	4,627,654,879口	4,613,373,026口	4,604,388,829口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	6,449円	6,399円	6,650円	6,380円	6,531円	6,540円

当作成期中における追加設定元本額は12,787,752円、同解約元本額は252,090,662円です。

■組入上位ファンドの概要

ドイツェ・グローバル好配当株式マザー（2022年6月22日～2023年6月21日）

◆基準価額の推移



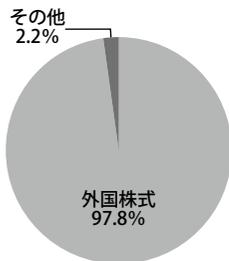
◆上位10銘柄

	銘柄名	通貨	国（地域）	比率
1	AGNICO EAGLE MINES LTD	米ドル	カナダ	3.2%
2	NEWMONT GOLDCORP CORPORATION	米ドル	アメリカ	3.0%
3	JOHNSON & JOHNSON	米ドル	アメリカ	2.6%
4	SHELL PLC-NEW	英ポンド	イギリス	2.6%
5	MERCK & CO. INC.	米ドル	アメリカ	2.6%
6	BHP GROUP LTD	英ポンド	オーストラリア	2.5%
7	SCHLUMBERGER LTD	米ドル	キュラソー	2.5%
8	BROADCOM INC	米ドル	アメリカ	2.4%
9	TOTALENERGIES SE	ユーロ	フランス	2.4%
10	NOVARTIS AG-REG SHS	スイスフラン	スイス	2.3%
組入銘柄数			67銘柄	

（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

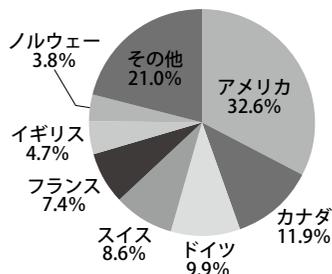
◆資産別配分



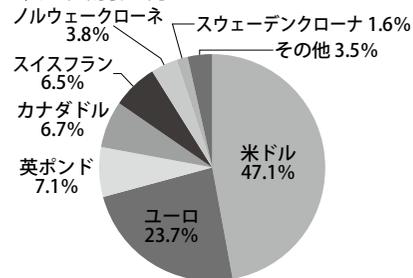
（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆国別配分



◆通貨別配分



◆ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2022年6月22日～2023年6月21日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	3円 (3)	0.009% (0.009)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.003 (0.003)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	8 (8)	0.026 (0.026)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資 産の移転等に要する費用
合 計	12	0.038	
期中の平均基準価額は29,753円です			

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料、(b) 有価証券取引税、(c) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■<ご参考> 用語の解説

用語	内容
運用報告書	投資信託がどのように運用され、その結果どうなったかを決算ごとに受益者（投資家）に報告する説明書です。この中では基準価額、分配金の状況や今後の運用方針などが詳しく説明されています。
ベビーファンドとマザーファンド	受益者（投資家）のみなさまが取得する投資信託（ファンド）を「ベビーファンド」といい、ベビーファンドの資金をまとめて実質的に運用するためのファンドを「マザーファンド」といいます。マザー（親）ファンドとベビー（子）ファンドによって構成されているため、ファミリーファンド方式と呼ばれています。
純資産総額	投資信託は株式や公社債等の値動きのある有価証券に投資します。この有価証券を時価で評価し、株式や公社債等から得られる配当金や利息等の収入を加えた資産の総額から、ファンドの運用に必要な費用等を差し引いた金額のことです。
収益分配金	投資信託の決算が行われた際に受益者（投資家）に支払われる金銭を「分配金」または「収益分配金」といいます。運用によって得た収益を分配するもので、株式の配当金に相当します。またファンドによっては分配金がその都度支払われるタイプと分配金を再投資するタイプがあります。
元本払戻金（特別分配金）	受益者（投資家）が株式投資信託追加型の収益分配金を受取る際、収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額は「元本の一部払戻しに相当する部分」として非課税扱いされます。これを「元本払戻金（特別分配金）」といいます。
基準価額	投資信託の値段のことです。投資信託に組み入れている株式や債券などをすべて時価評価し、債券の利息や株式の配当金などの収入を加えて資産総額を算出します。そこからファンドの運用に必要な費用などを差し引いて純資産総額を算出し、さらにその時の受益権口数で割ったものが「基準価額」であり、毎日算出されています。
信託報酬	投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。信託財産の中から運用会社・信託銀行・証券会社など販売会社へ間接的に支払われます。その割合および額は目論見書や運用報告書の運用管理費用（信託報酬）の項目に記載されています。
騰落率	投資信託の過去の運用実績（基準価額の推移の動向）を示すもので、基準価額の変動と支払われた分配金を組み合わせて算出します。ある一定期間中に投資信託の価値がどれだけ変化しているかを表します。例えば過去3ヶ月、6ヶ月、1年等、一定期間に基準価額がどの程度値上がり（または値下がり）したのかを表しています。

出所：一般社団法人投資信託協会等

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前 9 時～午後 5 時

<https://funds.dws.com/ja-jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。